

# 平成28年度 自己評価結果公表シート

学校法人 ひつじ幼稚園  
ひつじ幼稚園・第二ひつじ幼稚園

当園ではこの度、平成28年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施致しました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直す良い機会となりました。

また、それぞれの自己評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この自己評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

「心やさしく、いきいきと、体のびのび、たくましく」を目標に、学校教育法の「健康」「人間関係」「環境」「言語」「表現」の5領域の内容について、伸び伸びと自然に学べるように、きめ細やかな配慮と指導を行っています。そして、一人ひとりの子どもの持っている能力を引き出すことにつとめ、思いやりと創造性豊かな子どもになるように、明るく生き生きとした楽しい保育を目指します。

目指す子ども像

- 健康で明るく元気な子
- よく考えて自分の意思の出せる子
- 素直で思いやりのある子
- 人の話を落ち着いて聞ける子
- 創造性豊かな子

## II. 平成28年度の重点目標

- 教育内容、教育方針、目標の理解に努め、子どもの成長や発達にあった保育計画をたて、保育環境を整える。保育活動や行事を充実させる。
- 食育の充実や動物への思いやる気持ちを持たせる
- 教職員同士の協力・連携をはかり、教職員体制を確立させる
- 幼児や保育についての研究をし、研修会にも積極的に参加をして理解を深める
- 園の安全・衛生管理体制を充実させる
- 保護者との連携をはかる
- 教職員としての資質向上につとまる

## III. 平成28年度の評価項目とその取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1. 教育内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・幼児の指導と保育活動・保育計画</li><li>・専門講師の指導</li><li>・行事の充実</li><li>・幼児のみとりと理解</li><li>・絵本の読み聞かせ</li><li>・新しい行事への取り組み</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもたちが心豊かに伸び伸びと集団生活ができるよう、愛情を持って関わり、温かく優しく支援し、ゆとりと成長を見守っていくよう努めた。一人ひとりにあった援助を行い、成長を見守った。</li><li>・見通しを持って無理のない保育計画(日案・週案・月案)を立て、また行事に向けての準備を余裕を持って行うことで、ゆとりを持って保育ができた。戸外遊びの時間を十分にとることができた。</li><li>・一つひとつの活動が子どもたちにとって楽しいと感じられるような保育指導を研究し、子どもたちの好奇心や可能性を広げられるように、保育内容の工夫をした。</li><li>・興味、関心を引き出したり、活動のおもしろさを伝え、充実感や達成感を味あわせる保育を展開できた。</li><li>・英語や体操、リトミックなどの、専門講師による指導も、楽しく取り組み、学ぶことができた。</li><li>・ボランティアの人(メープルの会)による読み聞かせの時間が定期的であり、物語の登場人物になって考えたり、また、絵本を読む時間も増えたり、季節や行事等に興味が持てるよう努めた。</li><li>・季節の歌や、子どもたちが興味を持った歌をたくさん教えた。</li><li>・従来の行事に時間がかかり、新しい行事を提案できるまでの余裕はなかった。(29年度の課題として)</li></ul>
2. 教職員体制の充実と	<ul style="list-style-type: none"><li>・教職員体制を充実させ連携を図る(全体と学年ごと)</li><li>・情報交換</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月の全体での職員会議で予定等をきちんと把握した。更に学年ごとに、主任を中心に話し合い、保育活動や仕事の進み具合を毎週確認し、見通しを持った計画を一緒にたて、準備を十分に行った。また、気付いたことを話しあい、情報を共有した。</li><li>・保育の中で取り組んで良かったという活動を情報交換し、学年で共通の活動として取り入れた。学年ごとの連携はかなり密にとれたが、それに比較すると、全体としての情報交換はやや希薄であった。(29年度の課題として)</li></ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員同士のコミュニケーションを大切にし、連携をはかった。クラスの情報交換や進み具合等を毎週確認するようにした。</li> <li>・マナーについての研修会に参加し、学んできたことを全員で意見交換し、好感の持てる言葉づかいや身だしなみ等を考えた。</li> <li>・職員会議の他にも、保育前後に時間をつくり、職員同士で保育についての情報を話しあった。</li> </ul>
<b>3. 研修と研究</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他園や小学校の先生との情報交換</li> <li>・研修・研究への取り組み</li> <li>・研修会への参加</li> <li>・研修会後の情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他園や小学校の先生と情報交換したり、また、他園の保育を見学する研修にも参加し、視野を広げた。</li> <li>・研修会に参加し専門家の話を聞き、理解を深め、保育者としての質の向上に努めた。また、研修会で学んだことを、他の職員とも意見交換し理解を深め、情報を共有した。</li> <li>・怪我のときの応急処置のやり方や発達支援のこと等、市や県、外部団体が行う研修会に参加した。</li> </ul>
<b>4. 安全・衛生管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な園生活の見直しと、衛生面の管理</li> <li>・フッ化物洗口事業への取り組み</li> <li>・空気洗浄噴霧器(ハセツパー水)の設置</li> <li>・避難訓練の充実</li> <li>・防犯や自然災害への対策</li> <li>・安全点検票に基づき、定期的な安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時に視診を行い、体調の変化等に早く気付くようにし、変化が見られたときには園長に報告し、必要に応じた対処を行った。</li> <li>・クラスや通園コースで風邪や、感染症での欠席者が多いときは、教職員全体に知らせ、そのことをふまえたうえで、注意深く視診をし、消毒を強化したり、適切な処置を行った。学級閉鎖になったときは、専門業者に依頼し保育室を消毒した。</li> <li>・全体集会や、クラスでよく話をして、手洗い・うがいや、廊下や階段での怪我や衝突を防げるよう、走らないこと、右側通行など指導し、習慣付けていった。</li> <li>・熱中症対策として、暑い日の水分補給の大切さを、わかりやすく何度も話をしたり、水をこまめに飲むように配慮した。</li> <li>・保健衛生について季節にあった情報を手紙にて保護者の方へお知らせした。</li> <li>・シャンプー会社のメリットの方を招き、髪の正しい洗い方を教わった。</li> <li>・年長組は、週2回フッ化物洗口を行い、歯科衛生士による歯の健康教育も受け、虫歯予防への意識を高めた。また、年中組は子どもと保護者が、歯科衛生士による歯の健康教育を受け、次年度から始めるフッ化洗口に向けて、水でブクブクうがいの練習をして虫歯予防の意識を高めた。また全園児が昼食の後、歯磨きを行い、歯磨きのやり方を習慣づけていった。</li> <li>・各クラスと正面玄関に空気洗浄噴霧器(ハセツパー水)を噴霧させ、衛生管理を強化し、消毒の習慣を身につけた。</li> <li>・定期的に避難訓練を全体で行い、各クラス毎でも防災頭巾をかぶる練習をしたり、避難の仕方や災害時の対策について再確認し、意識を高めた。</li> <li>・ニュースや新聞等で取り上げられている子どもたちに関わる事件や、事故の認識を高め、園児や保護者に注意を呼びかけたり、意識を高めるようお話しした。また、教職員でも対策を話しあった。</li> <li>・安全点検票に基づき、遊具の点検を定期的に行ったり、子どもたちが危ない遊びをしていないかよく見て、危険と判断したことは、対処方法を話し合った。</li> </ul>
<b>5. 食育の充実と動物への思いやり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お米や野菜の栽培</li> <li>・明治製菓への見学</li> <li>・食育教育</li> <li>・夏休みの預かり保育の手作り給食</li> <li>・生き物への関心と思いやり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが食べ物に興味を持てるよう、トマトやお米の栽培をした。採れたトマトで、サラダパーティーをしたり、ご飯を炊いて塩にぎりを作って食べた。園庭で育てたことにより、身近で様子をいつも見られ、関心を深めた。子どもたちが植物を大切にしたり、興味を持つ環境を整えた。</li> <li>・年長組は明治製菓に見学に行き、お菓子ができるまでの過程を楽しく学ぶことができた。</li> <li>・ドールの会社の方が来て下さり、食育についての話をわかりやすく教えてもらった。</li> <li>・夏休みの預かり保育の時に、手作り給食として、サンドイッチや、焼きそば、カレーを作って食べた。</li> <li>・紙芝居や絵本等を通し、虫や動物と関わり、自然を大切にする気持ちを持たせた。幼稚園にいるウサギをかわいがり、思いやりの気持ちを育んだ。</li> </ul>

<b>6. 保護者との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の発信と受信</li> <li>メールサービス、ホームページ、ラインプリントなどで連絡</li> <li>保護者会と個人面談</li> <li>行事への手伝い</li> <li>守秘義務の遵守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一括メール配信を行い、緊急連絡や行事前のお知らせなどを情報提供した。また、ラインや、ホームページを利用し、日々の出来事や保育の様子を配信した。</li> <li>子どもがいつもと違う様子のときには、連絡帳や電話、面談などで連絡を密にとり、十分に話し合い解決に努めた。</li> <li>個人面談や電話、連絡帳を通じて、園での様子を保護者に伝えたり、また家庭での様子を保護者から教えてもらいながら、保護者と協力して成長を見守っていった。</li> <li>行事の手伝いやプールの着替えの手伝い等をお願いし、保護者と園とで行事などがさらにより良いものとなるように協力していただいた。(保護者に無理のない範囲内でやってもらえるように、手伝いを改善しながらお願いした。)</li> <li>家庭の情報を口外せず、各家庭状況等にも配慮するよう努めた。</li> </ul>
<b>7. 教職員としての資質向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員全員が意識して質の向上に努める</li> <li>苦手な分野の向上と先輩教員からの学び</li> <li>研修会への参加</li> <li>言葉遣い身だしなみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の先輩教員の保育の仕方を学んだり、より良い保育を目指し様々な分野の向上を努めたかったが、まだ不十分であった。(29年度の課題としたい)</li> <li>新しい内容やより良い保育への改善、向上に努めた。</li> <li>マナーについての研修会に参加し、学んできたことを全員で意見交換し、好感の持てる言葉遣いや身だしなみ等を考えた。</li> </ul>

#### IV. 平成29年度に取り組む課題

<b>1. 教育内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の指導と保育活動</li> <li>行事の充実</li> <li>幼児のみとりと理解</li> <li>環境づくりの工夫</li> <li>専門教育</li> <li>動物や植物への関心</li> <li>読み聞かせ</li> <li>絵画指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>愛情をもって関わり、温かく優しく支援し、根気良くゆっくと成長を見守っていく。一人ひとりの個性を大切に、可能性を引き出すことに努める。</u></li> <li><u>全ての園児たちが、日々充実した楽しい生活が出来るよう配慮する。</u></li> <li>言葉に出来ないサインを、きちんと受け止められるようにする。</li> <li>発達や成長にあった子どもの無理のない保育計画を立て、子どもが主体となって活動できるように配慮し、戸外遊びの時間を十分にとるようにする。</li> <li>新しい活動を取り入れ、子どもたちがそれぞれの活動に楽しんで取り組めるように、保育環境を整え、保育や指導の仕方を研究し、工夫していく。子どもの成長にとって大切な経験や体験を積極的に取り入れていく。</li> <li>子どもたちの興味を引き出せるように、環境づくりの工夫に努める。</li> <li>英語や体操、リトミックなどの、専門講師による指導に、やる気を持って参加する。</li> <li>子どもたちが植物に関心を持ち、生長を観察したり、水をあげたりができるように、身近なところに必要なものを整えておく。</li> <li>絵本や紙芝居を読んだり、季節の歌をうたったりする時間を多く取り入れる。</li> <li>想像力豊かな絵画や作品ができるように、いろいろな経験や体験ができるよう、保育に取り入れる。</li> <li>子どもたちが自ら考え、発想や想像力が育つように、また、それぞれの活動に楽しんで取り組めるように、保育環境を整え、保育や指導の仕方を研究し、工夫していく。</li> <li>行事ごとのねらいを理解し、それにそった保育をより進めていけるようにする。</li> <li>子どもたちが動物や植物に興味や思いやりを持てるように、幼稚園の環境を今まで以上に整える。</li> </ul>
<b>2. 教職員体制の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員体制を充実させ連携を図る(幼稚園全体・学年ごと)</li> <li>送迎コースの申し送りの徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員間のコミュニケーションを大切に、職員会議等で情報交換を密にし、情報の共有を行い連携をはかって行く。幼稚園全体で問題解決していく。さらに学年主任を中心に、学年ごとに話しあいや、情報交換などを密にし、学年でも連携を図っていく。学年ごとに見通しを持った計画をたて準備を十分に行う。</li> <li>子どもの様子や送迎コースの申し送りを徹底し、しっかり把握する。</li> <li>他のクラスやベテラン教員の保育の様子を観察し、それにより気付いたことを意見交換し、お互いに学ぶ機会をつくる。他の教職員の保育の良いところを見習うようにする。</li> </ul>
<b>3. 研修と研究</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修・研究の取組み</li> <li>研修会への参加</li> <li>他の教職員からの学び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが楽しめる保育を行えるよう研究に努め、良かったことは職員間で共有し、更なる向上に努める。</li> <li>積極的に研修会に参加し、保育者としての質の向上に努める。さらに研修会で学んだことは職員会議で意見交換し、全員が理解を深められるようにする。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手分野の意識と向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識して他の教職員の保育の仕方を学び、向上に努める。</li> <li>・より良い保育を行うため、自分が苦手とする分野の向上に努める。</li> </ul>
<b>4. 安全・衛生管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な園生活の見直しと、衛生面の管理</li> <li>・通園コースの確認</li> <li>・空気洗浄噴霧器の設置</li> <li>・フッ化物洗口事業への取り組み</li> <li>・避難訓練の充実</li> <li>・防犯や自然災害への対策</li> <li>・安全点検票に基づく、定期的な安全点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室やトイレ、遊具などの掃除をきちんと行い清潔に保つ。</li> <li>・健康な生活に必要な習慣や態度が身につくような言葉掛けをしたり、その場に応じた支援をする。</li> <li>・手洗いうがい、廊下は走らない、右側通行などの指導に努め、幼稚園全体で注意していく。また、全園児が歯磨きを習慣づけられるようにする。</li> <li>・正面玄関のドアを必ず閉める。来客者にも徹底する。</li> <li>・より安全に登園・降園できるように、やり方や時間等を見直しし、必要な時には改善する。通園コースの人数確認を徹底し、安全に通園できるようにする。</li> <li>・空気洗浄噴霧器(ハセツパー水)を噴霧させ、保育室の除菌を行い、保育室を清潔に保つ。</li> <li>・年長組は29年度も引き続き、川越市の事業、「フッ化物洗口事業」を実施し、歯科衛生士による歯の健康教育を受け、虫歯予防の意識を高める。また年中組では、その準備を行う。</li> <li>・29年度も引き続き、防災ずきんをかぶり、定期的に避難訓練を行う。</li> <li>・地震等の自然災害や不審者が侵入したときの対処の方法について、教職員が普段から確認しあい、一人ひとりが実践できるよう心掛ける。</li> <li>・安全点検票に基づいた安全点検を行い、園庭や園舎内で危険なところがないか、遊具の安全確認等、注意していく。</li> </ul>
<b>5. 食育の充実と動物への思いやりと関心</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育への取り組み</li> <li>・環境づくり</li> <li>・行事の充実 芋掘り遠足 ジャガイモ掘り遠足 サラダパーティ おにぎりパーティ</li> <li>・生き物との触れ合いと思いやり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理に食べさせることはせずに、みんなで一緒に食べることの喜びや、楽しさを感じさせ、自発的に食べたいと思えるような環境づくりをする。</li> <li>・食べ物に対して感謝の心や親しみを感じることができるよう、野菜や果物を育てたり、食材に触れる機会を保育の中にさらに取り入れていく。</li> <li>・29年度も年長組はミニトマトを栽培し、みんなで大切に育て、7月にはサラダ・カレーライスパーティや、幼稚園全体ではお米作りを行い、おにぎりパーティを行い、食育に取り組む。また芋掘り遠足、ジャガイモ掘り遠足などを通し、食べ物への興味や関心を高める。</li> <li>・ウサギやインコ、金魚にえさをあげるなど、動物とのふれあいを取り入れ、動物への思いやる優しい気持ちを持たせる。</li> <li>・カブト虫を卵から、幼虫、さなぎ、成虫に育て、昆虫(生き物)への興味や関心を持たせる。</li> </ul>
<b>6. 保護者との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の発信と受信</li> <li>・保護者会や個人面談</li> <li>・メールサービス、ホームページ、ラインプリントなどで連絡</li> <li>・行事への手伝い</li> <li>・守秘義務の遵守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもがいつもとは様子が違うときは、保護者と密に連絡をとり、連絡帳、電話、面談などで十分に話し合い、解決するよう努める。</li> <li>・保護者と園との共通理解のため、保護者会・クラス会などを開催し、情報を共有する。</li> <li>・個人情報に注意しながら、日々の出来事や子どもの様子を、ラインやホームページを利用して情報提供していく。写真等が、偏らないように配慮する。</li> <li>・全園児にメールサービスの登録をしてもらい、一括して情報をメール配信する。行事の前のお知らせや、急な変更事項等は、メールサービスを利用して情報提供をする。</li> <li>・保護者の保育参加や行事の手伝い等を、保護者の無理のない範囲内でお願いする。</li> <li>・個々の子どもや保護者、家族の情報は、決して口外しない。</li> </ul>
<b>7. 教職員としての資質向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育研究と保育技術の向上</li> <li>・日々の振り返りと、反省と改善</li> <li>・苦手分野の向上</li> <li>・他の教職員からの学び・服装・身だしなみ</li> <li>・態度や言葉遣い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが楽しめる保育を行えるよう研究に努め、良かったことは教職員同士共有し、更なる向上に努める。</li> <li>・より良い保育を目指し、自分の不得意なことに対してより向上できるように、また、日々の反省をきちんとし、更に探求心を持つようにする。</li> <li>・教職員同士で良いことはお互いに学び、苦手なことは向上できるように努める。また、他の教員の保育の仕方を積極的に学んだり、わからないことは先輩教員へアドバイスを求めたりする。</li> <li>・ひつじ幼稚園の教職員であることの自覚を持ち、好感の持てる服装や髪型、先生らしい態度や言葉遣いを心掛ける。</li> <li>・本やインターネットなどで学び、役立てていけるようにする。</li> </ul>